

2022(令和4)年度 第1回 初任者 SD 研修 「大学職員の心得を知り、視野を広げる」 開催報告

日 時： 2022(令和4)年6月17日(金)13:00～15:00 (情報交換会 15:00～16:00)
会 場： エル・おおさか 南 734 教室 (大阪市中央区北浜東3-14)
企 画・運 営： 大学コンソーシアム大阪 研修部会 推進委員会
企 画 統 括： 浅田 晋太郎氏(研修部会推進委員会 委員長、大阪女学院大学 常務理事・事務局長)
企画コーディネート： 清水 栄子氏(研修部会推進委員会 委員、追手門学院大学 共通教育機構 准教授)
宮原 秀明氏(研修部会推進委員会 副委員長、大阪学院大学 大学事務長)
講 師： 岡本 千代恵氏(研修部会推進委員会 委員、関西福祉科学大学 教務部)
司 会： 城戸 直也氏(研修部会推進委員会 委員、追手門学院大学 総務部人事課 主任)
受 講 者 数： 15 大学 37 名
プ ロ グ ラ ム： 大学コンソーシアム大阪 HP 掲載の「シラバス」参照
受講者アンケート： 別紙のとおり

研 修 概 要：

今回は、新型コロナウイルス感染防止措置を講じながら、3年ぶりとなる対面研修を行った。



城戸委員(司会)



浅田委員長

はじめに、司会の城戸委員による開会挨拶と浅田推進委員長の紹介があった。

浅田委員長からは受講生に対し、「大学コンソーシアム大阪では、教職協働の一環として委員がともに学びながら研修事業を進めている。これからの時代、大学は厳しい状況におかれ、職員の力がますます問われることとなる。今回は初任者SD研修として大学職員の第一歩として参加いただ

ており、受講者にとってよい体験となると思う。若い時に研修で切磋琢磨しながら学んだ他大学の仲間は、今後色々な意味で支えとなってくれるだろう。何かの折に一緒になった際は、積極的に声をかけて励まし合ってもらえればと思う。」との励ましの言葉があった。



岡本講師

続いて、岡本講師、推進委員による自己紹介が行われた後、研修の本編として岡本講師による今回の研修にかかる趣旨説明とオンラインアンケートツール「Slido」を使用したクイズ形式によるアクティビティが行われた。

講義では、1つ目のテーマ「大学業界での仲間づくり」として、大学組織の特徴や法令の重要性について説明があった。続いて各グループでの自己紹介のあと、グループ対抗による大学業界に関するクイズが行われた。



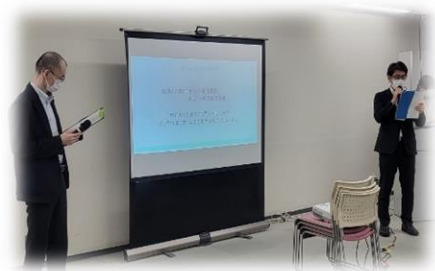
グループワークの様子

また、2つ目のテーマ「大学職員としての心得」では、窓口対応業務にかかる適切な対応方法、業務における報連相の大切さ等について委員によるロールプレイングから学んだ。

各シーンのロールプレイングは推進委員が演じ、各委員の迫真の演技に笑いが起こる場面が散見され、和やかな雰囲気のもとに進行した。

研修の締めくくりとして、岡本講師より「業務において一人で進めていくことはほとんどなく、色々な人と働いていくためにはコミュニケーションをしっかりとること、個々人の強みを生かしていくこと、お互いに信頼し合える関係を構築することが大切である。初心に立ち返り、挨拶をする、時間を守るといった当たり前のことを実行することで信頼関係を築くことができる。ただ言われることを行うのではなく、何故それを行うのかを意識すると業務に深みが出てくると思う。」との言葉が贈られた。

また、委員より今回の研修に対する講評や業務において日々気を付けている点など自身の経験をもとに共有された。



委員によるロールプレイング



委員からの講評の様子

続いて、本日の振り返りとして本研修のコーディネートを務めた清水委員より、「中教審の動向を追うことは大切だが、まずは自大学の学則を確認するところから始めてもらいたい。また、学生対応では学生にとってどのようなことが必要なのかを考えて対応することが大切であり、先輩などにもぜひ相談してもらいたい。大学の教育・研究・社会貢献において、今後職員の力が非常に重要になってくるので、本日の研修を今後の自身の行動変容の中で生かしてもらえたらと思う。」とのフィードバックがあった。

最後に、浅田委員長による「今回行われる大学設置基準の変更は数十年ぶりの大きなものとなり、このように大綱が変わるときには世の中に一体どういった貢献ができるだろうかと切実に考えねばならない。そのようなことを積極的に考え、進めることができる人が大学にとって貴重な存在になる。」との言葉をもって締めくくられた。

研修終了後には、受講者や推進委員による終始和気あいあいとした雰囲気のもと情報交換会が行われた。

以上